

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	音環境規準検討小委員会		主 査 名：平光厚雄 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：岩田 利枝 主 査 名：古賀 貴士
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	音環境に関する AIJES 作成・改定の全体マネージメントを行う。 ・音環境にかかる AIJES 作成・改定の全体計画(グランドデザイン) ・作成・改定すべき対象・スケジュール・体制の検討・決定 ・WG 設置による各種 WD の作成・改定 ・企画刊行運営委員会移行後・解散後のフォロー ・その他音環境規準の作成・実施に関わる事項		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	平光厚雄 (主査、国総研)、池上雅之 (幹事、大林組)、田中 学 (幹事、日総試) 青木亜美 (日建設計)、井上勝夫 (日本大学)、岡野利行 (竹中工務店)、古賀貴士 (鹿島建設)、佐久間哲哉 (東京大学)、佐藤 洋 (産総研)、清水 寧 (Sound/Form Design Lab)、田端 淳 (大成建設)、濱田幸雄 (日本大学)、平松友孝 (音・環境研究所)、宮島 徹 (清水建設)、吉村純一 (小林理研)		
設置 WG (WG 名：目的)	学校施設の音環境保全規準・設計指針改定準備 WG (目的) AIJES 『学校施設の音環境保全規準・設計指針』の改定準備作業をすすめる。		
2017 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の AIJES 化にむけて解決すべき課題を整理し、各技術分野毎に、担当する小委員会に検討を依頼した。 2. 「学校施設の音環境保全規準・設計指針—日本建築学会環境基準 AIJES-S001-2008」の改定に関する議論を行った。
委員会活動の問題点・課題	特になし

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」出版後における、集合住宅に関する将来の AIJES 作成に向けた課題整理を行い、各技術分野毎に、担当する小委員会に検討を依頼した。 ・ゴムボール衝撃源による重量床衝撃音の評価に関する検討として、海外を中心とした文献調査を行った。 ・新規 AIJES「スピーチプライバシーに関する音環境規準（仮）」の策定、および「学校施設の音環境保全規準・設計指針」の改定作業のフォローを行った・ ・「学校施設の音環境保全規準・設計指針—日本建築学会環境基準 AIJES-S001-2008」に関する議論を行い、規準のフォーマットの見直し案、床衝撃音の評価法、学校以外への適用などの改定案を策定した。 			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。